

---

# 初めての小説

匿名希望ケン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

初めての小説

### 【コード】

N0984I

### 【作者名】

匿名希望ケン

### 【あらすじ】

ある日、男は小説家になるという事を閃いた。その男の短編小説です。短い文章ですので気軽に読んで頂ければ嬉しいです。

男は呟いた。

「こんな感覚は久しぶりだ。書かずにはいられない。」  
その男は手元にあるデジタルタイマーセットして短編の文章を書き始めた。

発端は昨夜の仕事の最中の事であった。

単調極まりない工場での仕事をしている間、ふと閃いたのだ。

「俺ももしかしたら作家になれるかもしれない。そうしたら売れっ子作家になって大金を稼いでこの借金生活から抜け出せるかもしれない。」と、唐突に閃いたのだ。

二十代も後半になって相変わらず底辺のフリーター生活から抜け出せないでいる借金を抱えたこのギャンブル依存症の男はまたもや誇大妄想じみた事を思いついたのであった。

しかし面白い事にこうした夢に浸りながら仕事をしていると延々と繰り返される工場での単調な作業の退屈も良い具合に紛れる。

客観的に見ればただぼーっと考え事にふけっているかのように見えるその表情の口元が他人からは判らない程度に僅かに微笑んだ。

そうして男は終業時刻まで中学生じみた誇大妄想を続けるのであった。

この男には妙な所があり読書をする際や掃除をする際には必ず時間を計るという癖がある。

男はふとデジタルタイマーに目をやると14分16秒が経過していた。

「時間が経つのが早いな。楽しい事をしている時間ってやっぱり早く感じるんだな。文章を書くのが楽しいんだからきつと作家になつて借金返せるはずだ。」

そんな独り言を呟きながらキーボードを叩く男の指先が部屋に心地

よい音を響かせていた。

男はそのまま心地良い感情に身を任せながら文章をどんどん書き続けている内にふと気が付くといつの間にかデジタルタイマーの時刻が99分99秒を表示していた。

時間が経つのを忘れる程に男は久しぶりに楽しい気持ちになりながら軽快に文章を書いていたが、肝心な事にオチがない事に気が付いた。

読み手をあつと言わせるようなミステリー小説のようなオチを今まで小説を書いた事もない平凡な才能のこの男が思い浮かぶはずも無く、悶々としたままオチを考え続ける時間が過ぎた。

机の前に座って考え込んでからしばらくの時間が過ぎた。

そして最後の締めくくりの言葉として男はこう書く事にした。

「お母さん、先に死んでごめん」

(後書き)

タイトル通り生まれて初めて小説を書いてみました。

辛いコメントなどなんでも構いませんので評価して頂けると励みになります。

宜しくお願いします。

お読みいただきありがとうございました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0984i/>

---

初めての小説

2010年10月20日04時00分発行